

事務局説明資料

（「Well-being特別セッション」について）

令和7年4月3日

「Well-being 特別セッション」の開催について

第1回「Well-being特別セッション」事務局提出資料より抜粋・一部追記

- 経済・財政一体改革推進委員会では、国民一人一人が自分の夢や目標に挑戦し、互いを尊重しながら自己実現を図っていただける活力ある経済社会・地方を構築する視点から、施策を深めるための議論を行う、「Well-being特別セッション」を開催する。
- 本セッションを足掛かりとして、全体としての経済成長だけでなく、一人一人の生きがい、楽しさ、満足度を高めるよう、施策や評価手法を深化させるための取組を広げていく。

＜委員の構成＞

滝澤 美帆 学習院大学経済学部教授

横山 泉 一橋大学経済学研究科教授

井上 裕美 日本アイ・ビー・エム株式会社取締役執行役員

浦田 真由 名古屋大学大学院情報学研究科准教授

大嶋 寧子 リクルートワークス研究所研究センター第1グループ長

小西 葉子 筑波大学システム情報系教授 / RIETI上席研究員（特任）

直井 道生 慶應義塾大学経済学部教授

＜本特別セッションを通じて議論いただきたい点＞

- ・ どのような要素が、一人一人のWell-being向上にとって大事なのか。
- ・ Well-beingの観点から、地方に人を惹きつけるのは、どのような要因なのか。
- ・ その上で、Well-beingを高めるには、どのように施策を見直していくべきと考えられるか。
- ・ どのように関連施策を評価していくか。例えばKPIをどのように設定するか。また、どのようにEBPMの手法を活用していくか。
- ・ 一人一人のWell-beingを高めることによる副次的な効果は何か。

- 本セッションの目標を達成するため、個別分野ごとに論点を検討。
- 各委員とも相談の上、以下のような論点がありうる。

【第1回】総論・分野横断（令和7年3月12日開催）

- ・事務局によるこれまでの取組の説明
- ・事務局の問題意識の共有、論点の提示

【第2回】労働分野（令和7年3月19日開催）

- ①高齢者（継続雇用、ニーズや体力に応じた働き方、地域における社会参加）
 - ・職場での幸福感・やりがい向上策
 - ・上記の効果の測定
- ②子育て世代（女性の働き方、環境の地域格差、女性特有の健康問題、男性の育児休暇取得率や全国平均だけでは見えない実質的な育児参加促進）
 - ・健康経営など女性の健康支援
 - ・再就職した女性、介護女性の就業継続、働きがい

ゲストスピーカー：黒田祥子（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）、齋藤隆志（明治学院大学経済学部教授）

【第3回】地方創生分野・教育分野（令和7年3月26日開催）

- ①地方創生
 - ・関係人口、二拠点居住、人を惹きつける地域
- ②教育（教育環境の地域格差、自己肯定感、非認知能力等）
 - ・自己肯定感、非認知能力の向上（教育×地域の循環モデル）

ゲストスピーカー：指出一正（株式会社ソトコトプラネット「ソトコト」編集長）、露口健司（愛媛大学大学院教育学研究科教授）